

グランプリ東北(CVG東北)

ごあいさつ



CVG東北実行委員会委員長 宮本 保彦

今回20回目を迎えた「CVG東北」実行委員会と日刊工業新聞社、東北地区3産業人クラブは2024年12月17日、仙台市内で最終審査会を開催し、厳正な審査の結果、最優秀賞はじめ5組の入賞者を決定。2月4日、東北3産業人クラブ新春講演会など併催の表彰式で受賞者に賞状と賞金、記念品が贈られる。

東北の未来に新たな希望の光ともす

「30年までに全国のクマ被害の死者数を0にする」といった意欲的な目標設定などが評価された。長谷山さんは2月25日に大阪で開催される全国大会へ出場する。特別賞の東北経済産業局長賞には、岩手大学・齋藤朱里さんの「共創リンク」が選ばれた。同じく日刊工業新聞社賞には東北福祉大学・南川七海さんの「LB flower」が選ばれた。さらに東北工業大学・遠藤俊史さんの「冠婚葬祭DXプラットフォームCtreation」、および同大・千葉なほ子さんの「Task Master Pro」にも奨励賞の授与を決定。今大会も本審査に進んだ全5組が見事、受賞を果たした。

最優秀賞に長谷山さん

CVG全国大会に出場

東北6県の学生によるビジネスプランコンテスト「CVG東北」の今大会は、大学・高校専攻科9校から18件のエントリーがあり、うち6校の14プランを有効と認め、そのうち予備審査をくぐり抜けた5組が最終審査会に進出。当日は各組の代表者が7分間のプレゼンテーションと8分間の質疑応答に臨んだ。行政・産業団体や経営者など官民を代表する有識者9人が審査委員として出席。学生の真剣な発表に耳を澄ませるとともに、賞賛の言葉を述べた。長谷山さんはこの数年、各地で深刻化している市街地へのクマの出没や、イノシシなど野生動物による農作物被害の対策として、四足歩行ロボットを考案。秋田県岡仁地域のマタギにヒアリング調査するなど地域の事情を考慮した開発姿勢や、



今大会も最終審査に進出した全5組を入賞とした

最優秀賞

秋田県立大学 長谷山 直飛

日本全国でクマやイノシシなどによる鳥獣被害が急増しており、その対策が急務となっている。だが、人手や物資の不足、そしてさまざまな安全上の配慮な

鳥獣被害対策ロボット「かみやぎ」の実践的運用によるクマ・イノシシ対策



独自技術で動物型ロボ量産

格闘技「かわきぎ」ロボット競技大会」を通じて培ってきた、動物型歩行ロボットの独自の技術ノウハウがある。それを応用したロボット「かみやぎ」には、動物に近しい警戒心を抱かせる「動物型ロボットかかし」としての効果があった。この「かみやぎ」を量産することで、より安全かつコストパフォーマンスの高い鳥獣被害対策を社会に提供しようというのが、本事業プランの概要である。併せて、このロボットの量産の一部を地元学生が担うことで、技術に通じた人材の育成と新たな雇用創出も狙っている。

特別賞・東北経済産業局長賞

岩手大学

齋藤 朱里

櫻庭 翔吾

「共創リンク」は、地域課題解決と地域産業の発展を促進するための共創プロジェクトの効率化ツールである。本ツールは、直感的に操作可能なアイコン形式の管理画面、タスク管理機能、スケジュール表示機能、進捗の見える化などにより、共創における多様な主体間のスムーズな連携を実現する。さらに、ツールの利用を通して

地域課題解決・産業発展に貢献

蓄積される「共創データ」を基に、最適な競争体制の提案や共創の効率化を実現。これらのデータは、研究機関や金融機関との連携により政策立案や地域内投資の基礎としても活用し、地域産業の強化や持続可能な発展に貢献する。特に、大学や自治体を中心とした普及を計画しており、初期段階では東北全域への展開を計画。これらを通して東北から全国に向けて、新たな共創プロジェクトの創出や持続可能な成長を支える事業モデルを実現する。

貴重な自然の恵みをエネルギーにかえて。

1951年の創立当初から水力電源の開発を進めてきた、東北電力グループ。以来、培ってきた経験と知見を活かし、「再生可能エネルギー事業に東北・新潟の皆さまとともに取り組んでまいりました。東北電力グループは、これからも再生可能エネルギーのさらなる拡大を目指してまいります。



第20回 キャンパスベンチャー

審査講評



CVG東北審査委員会委員長

蛸名 武雄

20回目の開催となるCVG東北には、18件の意欲あふれる応募がありました。審査を経て選ばれた5件に対し、12月17日に仙台市内でプレゼンテーションによる本審査が行われました。前向きかつ創意工夫がみられるものばかりで、興味深く、また楽しんで聞か

せてもらいました。候補者のいきいき、社会問題を解決したいという思い、挑戦する意欲が十分に伝わってきました。最優秀賞に選ばれた秋田県立大学の長谷山直飛さんは、自立巡回もできる四足歩行ロボット「かみやぎ」を用いてクマ・イノシシなどの野生動物が人里に下りてくるのを防止するサービス提案しました。地元ニーズに対応

問題解決への思い、挑戦する意志伝わる



東北工業大からは2組総勢7人が登壇した(遠藤さんのグループ)

Task Master Pro



代表の千葉さん

東北工業大学
千葉 なほ子
伊藤 鈴夏
中村 翼
松岡 朋広

タスクと心身の健康をAIで管理

我々のプランは「心身の健康管理」と「パートナー」により目標達成できるAI(人工知能)タスク管理である。具体的には、忙しい大学生の「計画倒れをなくす」ために「Task Master Pro」を提案しました。特徴は以下の4点となる。

①「AIによるリスク管理機能」で手間を省き、挫折を味わわずに済み、複数タスクを抱える大学生や社会人のニーズに応える。
②「心身の健康管理」ができる。次々と入る新たなタスクの調整に加え、持病や疲労度、気分ややる気を考慮することで無理なく最高のパフォーマンスでタスクを達成できる。
③「応援してくれる存在」がアプリ上で見守り、応援してくれ、モチベーションを維持し、メンタルヘルスの向上につながる。
④「チーム作業を可視化すること」で進捗状況をメンバーが理解し、助け合える。

このプラットフォームは締め切りまでにベストな結果を出せて、タスクチームの汎用可能性も高い。

た。ツールの発展性などが評価されました。南さんは、規格外であることなどの理由で捨てられる花のアップサイクル事業「LB flower」を提案しました。花の利用として、染料、ドライフラワーなどスケード利用を図るアイデアなどが評価されました。奨励賞にはいずれも東北工業大学の遠藤悠史さん、千葉なほ子さんの両グループの提案が選ばれました。遠藤さんらは、オンデマンド特化の冠婚葬祭DXプラットフォーム「Celebration Stream」を提案しました。

LB flower



東北福祉大学

南川 七海

廃棄物を回収・アップサイクル

花の購入や使用の際に「廃棄」という現象に直面し、規格外や使用後に廃棄される花々が年間出荷量の約3分の1以上にのぼる現状を知った。花が市場に出回らず捨てられる状況や、花の廃棄に罪悪感を抱える販売員や消費者の姿を目の当たりにして、「LB flower」という、お花のリサイクル・アップサイクル事業を考案した。

花の物流に着目して廃棄物の回収プロセスを構築し、廃棄される花々に新たな命を吹き込み、無駄を削減し、環境負荷を軽減する取り組みである。花が持つ美しさや温かさを最大限に活かし、リサイクルされた花は癒やしや笑顔を届ける製品へと生まれ変わる。
生産者・販売者・消費者の思いをつなぐ架け橋として、花に持続可能な社会の実現に寄与する取り組みになると考える。花を通して人々が暮らしの中で新たな幸福や感動、温かさを感じられる瞬間が増えていけばうれしい。

特別賞・日刊工業新聞社賞

冠婚葬祭DXプラットフォーム Celebration Stream



代表の遠藤さん

東北工業大学

遠藤 悠史
柳川 幸大
大学院 三品 亮祐

ライフイベント、デジタルで新たな価値提供

なく、感動を大切にしたい設計で心に残る体験を提供する。オンライン葬儀や結婚式、デジタル招待状、メモリアルビデオなどのサービスにより、遠隔地からも参加でき、参列者や家族の負担軽減が可能だ。
また、クラウド上での顧客情報管理や人工知能(AI)を使った業務の自動化により、スタッフの負担を減らし、迅速で効果的な対応を実現する。さらに、システム導入によりペーパーレス化や省力化が進み、環境にも配慮したサービスを提供できる。冠婚葬祭のデジタル化により、新たな価値を提供し、業界の進化を促進していく。

第20回CVG東北審査委員会 (敬称略)

- 〈委員長〉
蛸名 武雄 (産業技術総合研究所東北センター所長)
- 〈委員〉
古谷野 義之 (東北経済産業局地域経済部長)
伊藤 正弘 (宮城県産業技術総合センター所長)
西山 英作 (東北経済連合会理事・東経連ビジネスセンターセンター長)

- 青沼 廣利 (みやぎ工業会専務理事事務局長)
菅野 秀幸 (通研電気工業社長)
引地 智恵 (工藤電機社長)
松田 周一 (日本政策金融公庫国民生活事業本部東北創業支援センター所長)
斉藤 伸介 (日刊工業新聞社東日本支社長)



審査委員からは細かいアドバイスや叱咤激励が飛んだ



各組とも制限時間ギリギリまで質疑応答が交わされた

地域とつながり、未来へつなげる。

総合設備エンジニアリング企業として、
高品質の技術と新しい価値をご提供します。



本社 仙台市宮城野区榎岡4丁目1-1 〒983-8622 TEL.022-296-2111
東京本部 東京都千代田区大手町2丁目2-1 〒100-0004 TEL.03-3243-7111

頑張る学生を応援しています



Creating Solutions Together



CKD株式会社 本社 愛知県小牧市郡時二丁目250番地
東北工場 宮城県黒川郡大衡村松の平二丁目18番

セラミックスで 創造と挑戦を楽しむ



お問い合わせはお気軽に。
〒981-3292 宮城県仙台市泉区明通3-24-1
TEL:022-378-9231 FAX:022-378-9236
電話受付時間:8:30~17:30



東北地区3産業人クラブ

新会員募集中!!

産業人クラブは経営者の意思決定に
欠くことのできない情報と
チャンスをもたらします!

経営・技術情報収集の場に!!

- 宮城産業人クラブ
- 山形産業人クラブ
- 福島産業人クラブ

<https://www.sangyojin.com>

宮城から世界へ。 未来を支える 半導体テクノロジー。

半導体製造装置メーカー



TEL 東京エレクトロン宮城
宮城県黒川郡大衡町テクノビル1番 Tel.022-346-3000 www.tel.co.jp
東京エレクトロン宮城 採用 検索

